

稲穂

TOSUI

■ アングル 「下伊那中学校開校の地」 我が母校、ここに始まる ―表 2	■ 「稲穂」第6号の発刊に当って 岡村隆臣 ― 2
■ 巻頭特集／座談会 同窓会はメディアである ― 4	■ 特別寄稿 大空を翔け巡った35年 中島 武 ― 12
■ 随想 伊那山脈の最高峰・鬼面山に登る(下) 本多勝一 ― 16	■ 「稲穂」インタビュー⑥／萩本博幸同窓会会長に聞く 故郷飯田に、熱い思いを寄せて ― 21
■ 随想 〈物を詠み込む歌〉と〈気付きの歌〉 奥村晃作 ― 25	■ 随想 「青き心」で、地域に生きる 三宅稜威夫 ― 29
■ 随想 「犬も歩けば棒に当たる」方式で…… 山田 拓 ― 37	■ 足跡点描 食事と運動、ストレス解消 林 泰 ― 33
■ 飯田・下伊那の昆虫や動物たち 撮影・山田 拓 ― 40	■ 写真でみる飯田中学・飯田高校のあの頃⑥ ― 42
■ リレー随想⑥ 桑の木とコタツ 宮内邦子 ― 44	■ 平成20年度在京飯田高校同窓会講演要旨 変わりゆく故郷／下伊那の今日そして明日 平澤和人 ― 46
■ 随想 ラオスで見た昔の南信州のおもかげ 小林天心 ― 51	■ 随想 中学卒業記念のサイクリング 高田富美子 ― 55
■ 随想 番組プロデューサーという仕事 中村百合子 ― 59	■ フレッシュトーク 井坪香織／久保田潤 ― 62
■ 随想 ムーミン 鬼とミイの尻尾 松村一登 ― 64	■ 随想 この改革に、「参戦」を！ 代田昭久 ― 68
■ 随想 二つの祖国を生きる 大橋春美 ― 72	■ お知らせとお願い／「稲穂」のバックナンバーご希望の方へ ― 76
■ 各期同期会の活動状況 ― 84	■ 編集後記 ― 77

「稲穂」

昭和十六年（十八年）に飯田中学で刊行されていた格調高い「稲穂學報」に因んで……。



「楽」

表紙画「桜花」上村朱里

●かみむら・しゆり

昭和56（1981）年、駒ヶ根市生まれ。小学5年の時、高森町に引っ越す。飯田高校（52回）卒業後、東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻に入学。平成20（2008）年、同大学大学院美術研究科絵画専攻を修了。同年3月、長野県飯田創造館で日本画展「良庭散花」を催す。現在無所属。都内で予備校講師を勤めながら制作を続けている。

題字「稲穂」高田墨山書

●たかだ・ぼくさん

上郷生まれ。高7回。本名・活。大東文化大学中国文学科卒。日展会友、読売書法会理事、謙慎書道会常任理事、書象会副理事長、世界書美術評議会会長など。